

2025年10月27日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、経営方針で「地域農業の振興を通じて農業所得の向上を図り、地域社会に貢献する」というJA本来の目的を実現するJAを、更には「地域との共生、安全・安心で求められる農畜産物の提供」を基本に据える生産販売農協として「地域に不可欠なJA」を目指しております。こうした理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」の共済しきみの提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

唐津農業協同組合

I .取組状況

1 お客様への最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）原則 6 本文および（注 2、3、6、7）補充原則1～5本文および（注）】

- ・特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り扱い、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減いたします。
- ・なお、お客様の最善の利益の実現するため、JAバンク全体として2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社に販売状況等の情報を提供するなど情報連携を開始する予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末： 1)	6 (前年度末： 6)
株式型	3 (前年度末： 3)	5 (前年度末： 5)
REIT型	2 (前年度末： 2)	2 (前年度末： 2)
バランス型	7 (前年度末： 7)	

<商品選定の考え方>

お客様に提供する投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの全国機関である農林中央金庫における以下の基準に則して「JAバンクセレクトファンド」を取扱商品しております。

- ①「長期投資を前提とした商品性」
- ②「相対的に良好な運用実績」
- ③「良心的な手数料設定」
- ④「過去の運用成績の再現可能性」
- ⑤「過度な分配を追及しない運用方針」

I .取組状況

1 お客様への最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1~5本文および(注)】

お客様が、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、「ひと・いえ・くるまの総合保障」および「農業保障」の最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。

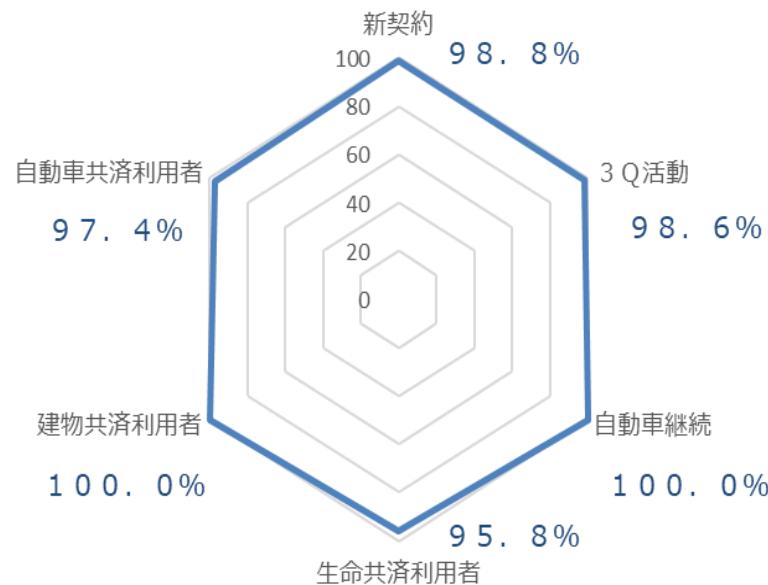
なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

● JA共済利用者総合満足度

総合満足度

96.8%

※総合満足度…加入時、保障時、支払時の各プロセスの利用者の満足度を合わせた総合満足度。



※プロセス満足度…各利用者接点に対する満足度

I .取組状況

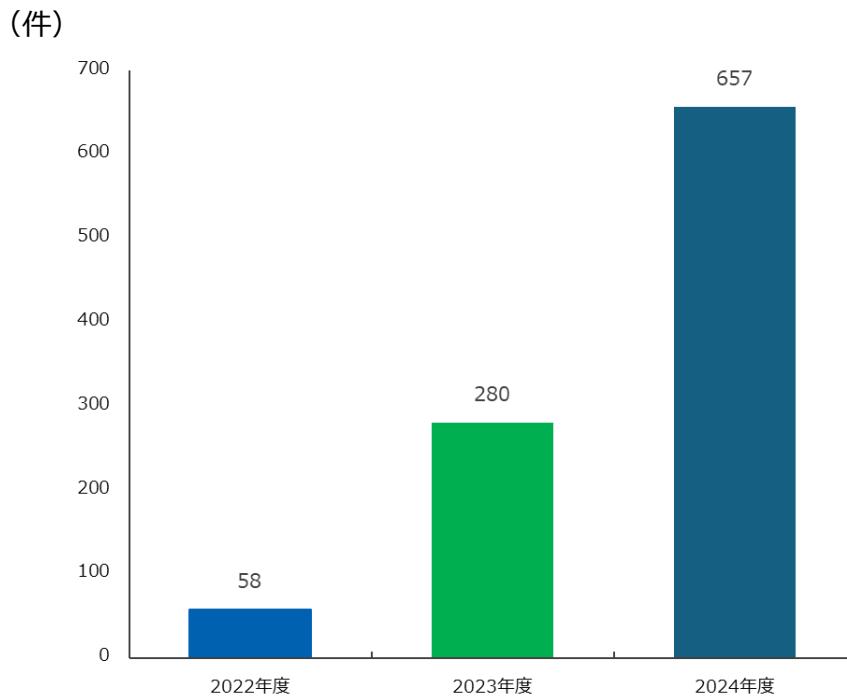
2 お客さま本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

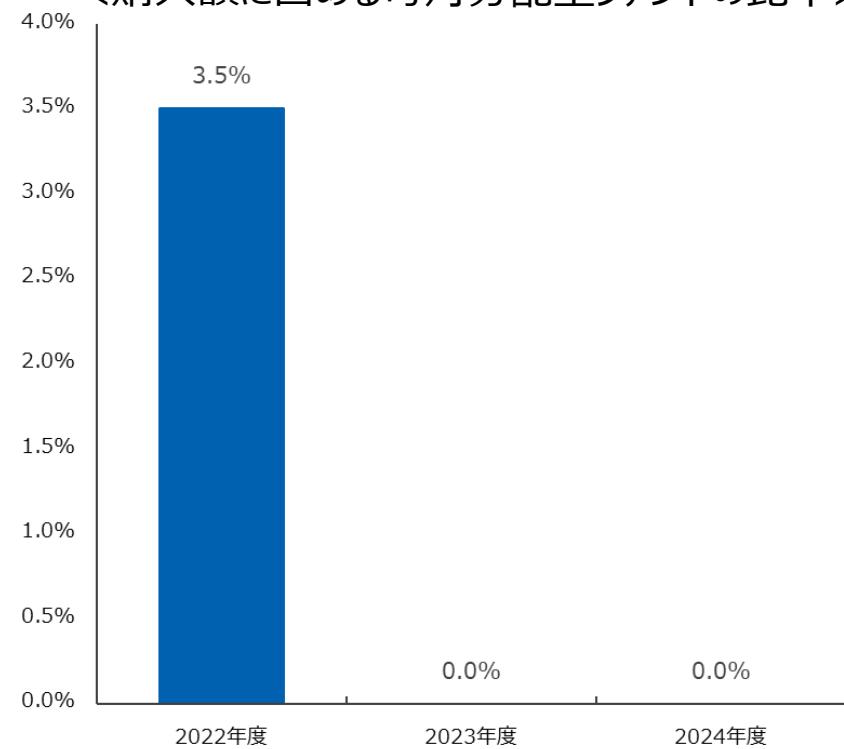
【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、
原則6本文および（注1～7）】

- ・ お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行った結果、「投信つみたて」を選択されるお客さまが増加しました。
- ・ 提案にあたってはご意向確認書等を用いながら、ご高齢の方には家族同席のうえ、より慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の確認を行い、お客さまの属性・適合性を判断したうえで適合性の原則に則したご提案を行っております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I .取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

- ・ お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、以下の資材等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- ・ なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

【最適な提案と情報提供に向けた主な取り組み】

- ・ 資産形成・運用の必要性や投資信託の仕組、運用環境、リスク、長期・分散投資の有効性等、「資産運用ガイドンス」に沿って適切な説明を行います。
- ・ JAバンク資産運用スタイル診断シートを用いてお客様のリスク許容度を踏まえ、最適な商品・サービスを提案いたします。
- ・ ご高齢のお客様には、原則として家族同席のうえ、より慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の十分な確認を行ないながら説明いたします。
- ・ JAバンクセレクトファンドマップ等を活用し、簡潔かつ分かりやすい情報提供を行います。

I .取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③ (2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

- ①契約者の皆さまへの3Q活動（請求漏れ・近況確認）とあんしんチェック活動（加入内容説明、保障点検）を通じて、お客さま一人ひとりに必要な情報提供を行い、地域に密着した活動を展開しております。
- ②お客さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりのニーズ・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案しております。また、共済の加入にあたっては、十分にお客さまの意向に沿った保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しております。
- ③ご高齢のお客さまに対しては、より丁寧なご説明と、ご家族を含めた十分なご納得とご満足を得られるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行っております。
- ④共済の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまに手数料等はご負担いただいておりません。
- ⑤各種手続きの実施にあたっては、お客さまに分かりやすいご説明に努め、日々の活動を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施しております。

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ・お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害するがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- ・対応方針に基づく利益相反管理態勢の妥当性について定期的に検証を行います。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6
（注5）原則7本文および（注）】

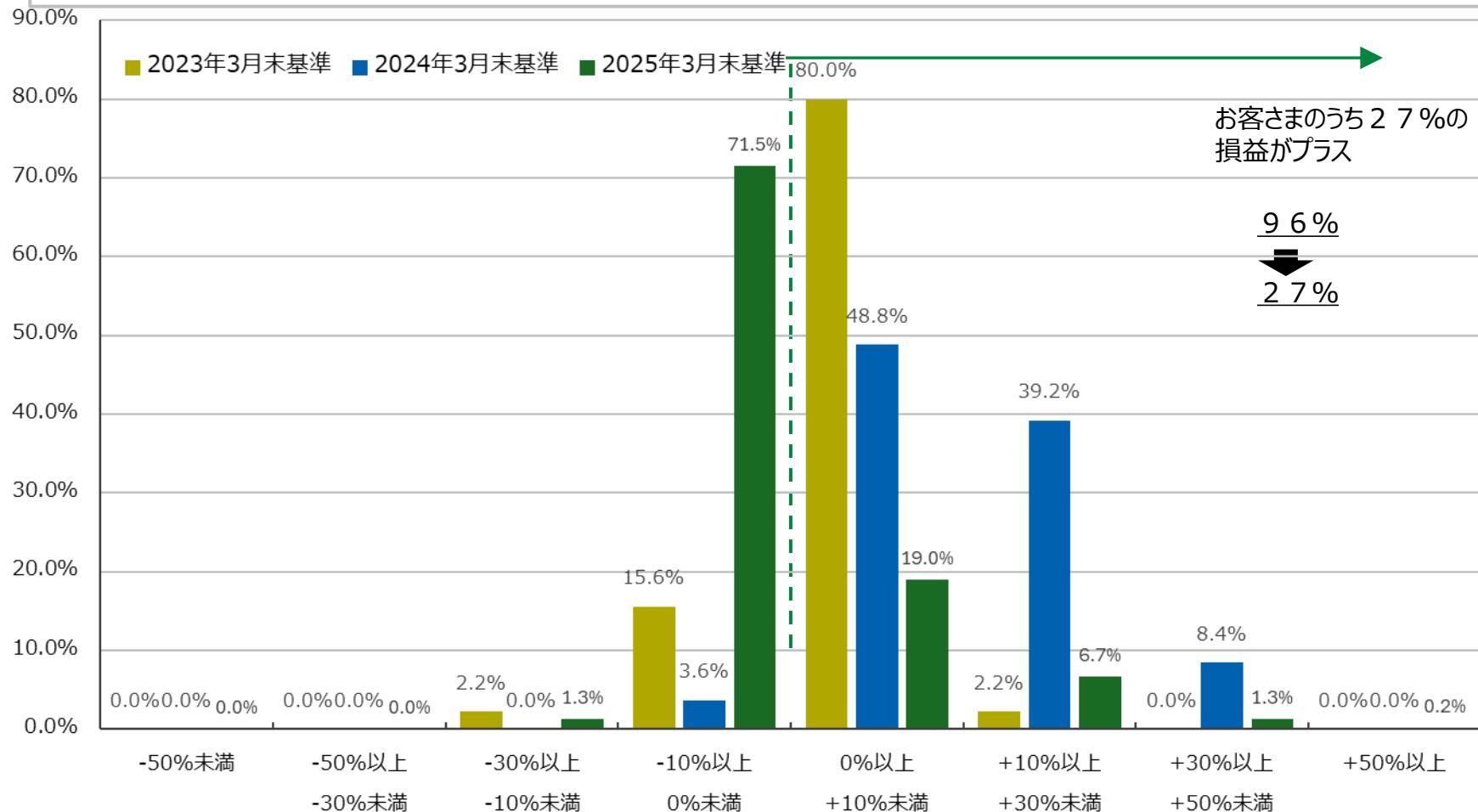
人材育成にあたっては、以下の取り組みを行っております。

- ・信用事業では、専門性を有する人材育成の一環として、登録外務員等は全国システムによる再研修を毎年受講しております。また、資産形成・運用提案にかかる知識および提案話法の習得を目的とし、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修を受講しております。
- ・共済事業では、公的保障研修や共済契約税務研修を継続的・定期的に実施するとともに、お客さまの保障ニーズに応えるため、高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための体制を構築しております。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の27%のお客さまの損益がプラスとなりました。

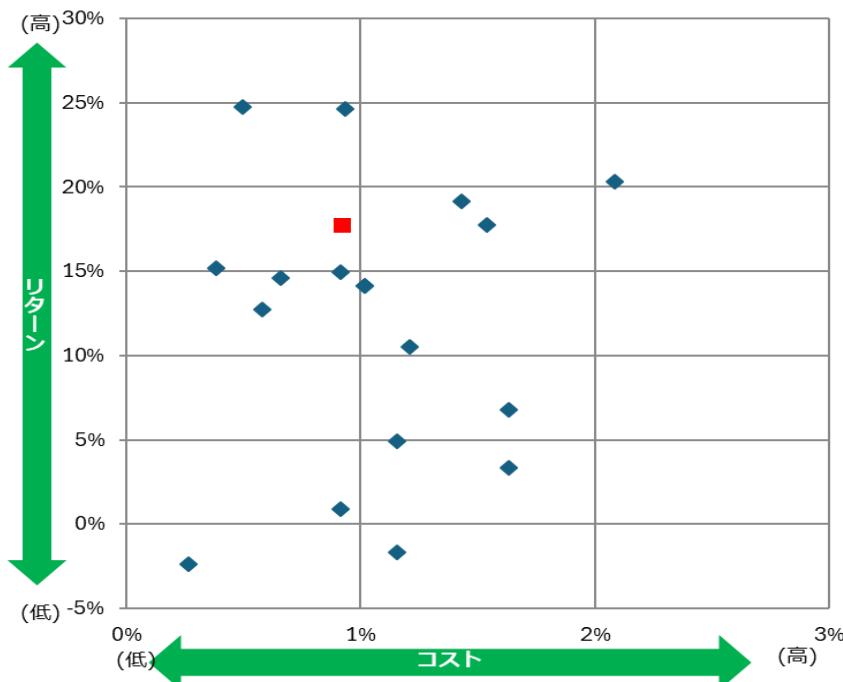


Ⅱ.比較可能な共通KPI

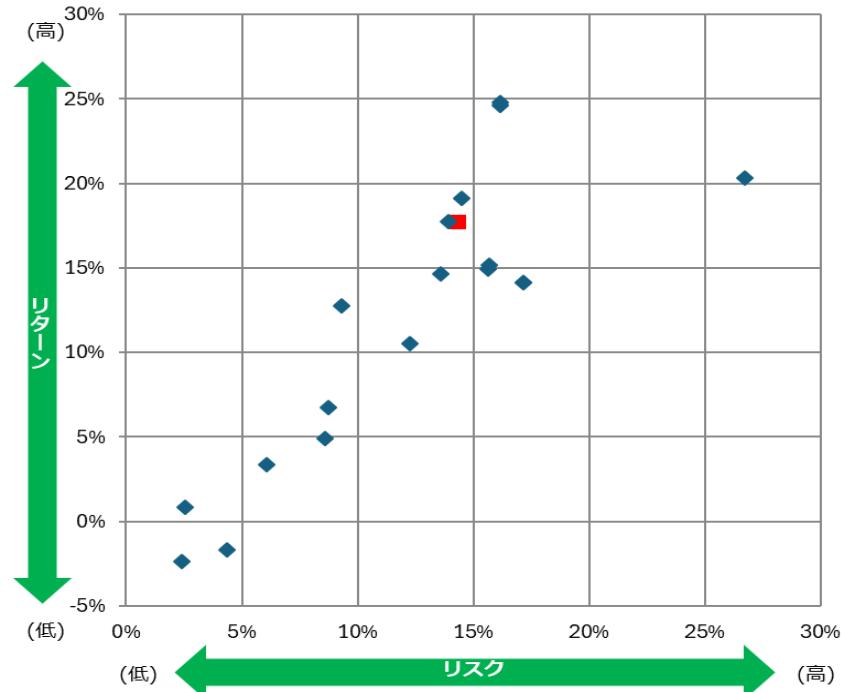
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク14.33%に対して、平均リターンは17.74%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

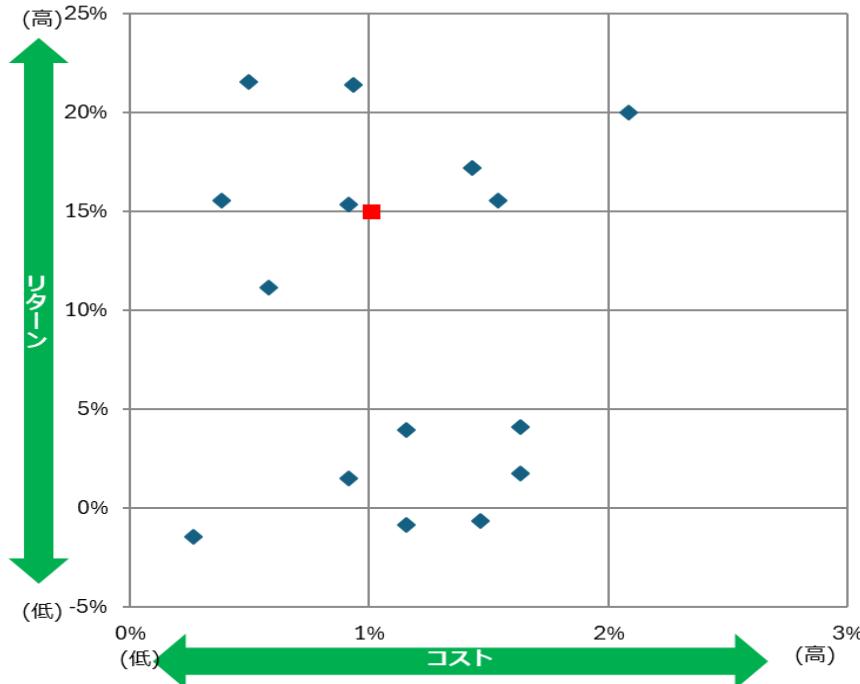
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

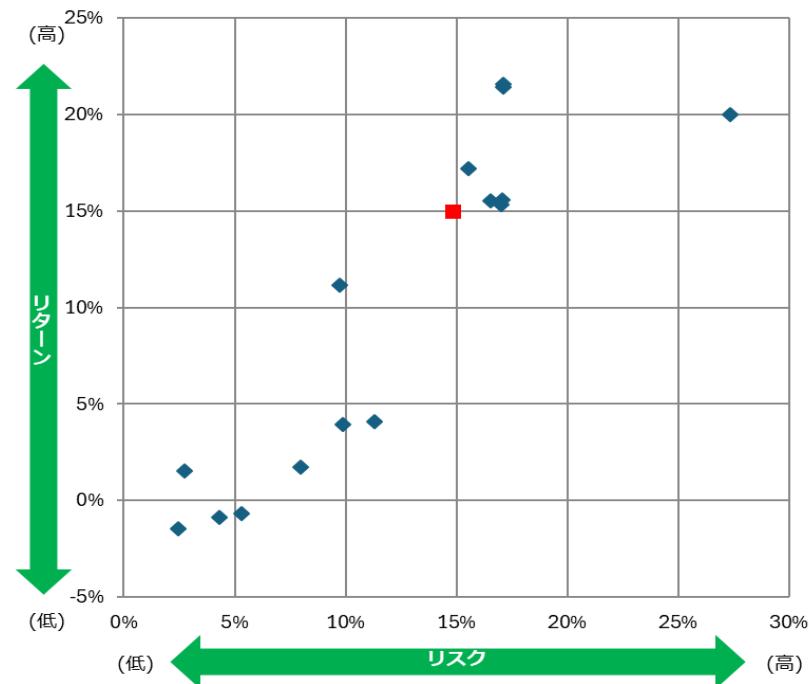
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.01%、平均リスク14.83%に対して、平均リターンは14.96%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

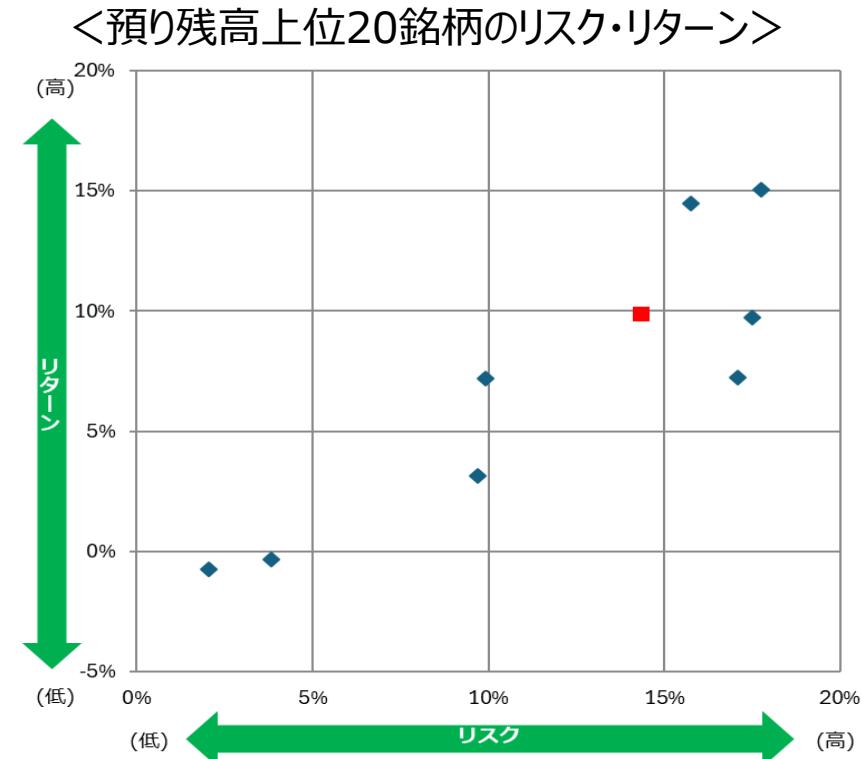
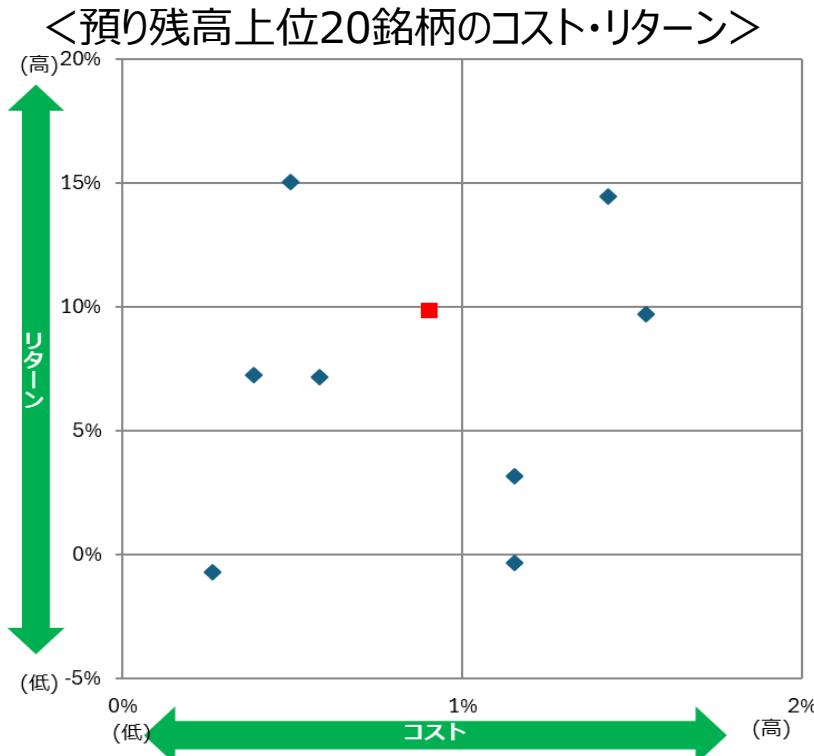


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.90%、平均リスク14.33%に対して、平均リターンは9.87%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
6	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
9	HSBC世界資産選抜 育てる口座(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
10	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
12	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
13	HSBC世界資産選抜 収穫口座(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
14	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
16	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
17	グローバル・リート・インデックスファンド(毎月決算型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.14%	17.14%	1.02%
18	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.74%	14.33%	0.92%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
5	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
7	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
11	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
12	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
14	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
15	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.96%	14.83%	1.01%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は15本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
3	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
4	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.72%	2.06%	0.26%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
8	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		9.87%	14.33%	0.90%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。